



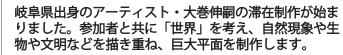


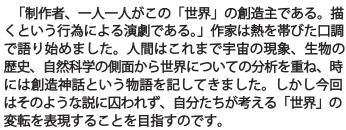






5/24・25 美濃加茂市民ミュージアム





もう一つ大切なことは、抑制されたエネルギーを解き放つことです。ペンや色鉛筆で画用紙を塗りつぶす行為は、描くことのみに没頭する身体をつくるための準備運動です。そして森の中に立てた12枚の板に、手を使って描き重ねるアクションを繰り返しました。

3.6×11.8mの巨大平面は今回の「世界」のための舞台です。宇宙の始まり=火山、大きなエネルギー、針先の一点、静寂、中心、黒・・・湧き上がるイメージを表現する手法を考え、制作者はそれぞれ役割を担います。

画面の中央に黒い滴りが流れ落ちた瞬間、「世界」は 始まりました。細かな黒点、転がる玉の跡。手と足で押 し広げられた宇宙の闇が舞台を覆い尽くしました。











